

令和8年度 沖縄県高等学校総合体育大会

第42回沖縄県高等学校アーチェリー競技大会実施要項

主催 沖縄県高等学校体育連盟・沖縄県教育委員会
後援 公益財団法人沖縄県スポーツ協会・琉球新報社
協賛 NHK 沖縄放送局・沖縄タイムス社・株式会社ラジオ沖縄
沖縄テレビ放送株式会社・琉球放送株式会社・QAB 琉球朝日放送株式会社
主管 沖縄県高等学校体育連盟アーチェリー競技専門部・沖縄県アーチェリー協会

1. 期 日 (1) 総合開会式 令和8年5月22日(金)
(2) 競 技 令和8年5月23日(土)～5月24日(日)(運営、天候等により変更あり)
1日目 開始式 9:30～ 競技開始 10:00～(運営、天候等により変更あり)
2日目 競技開始 9:15～ 終了後、閉会式(運営、天候等により変更あり)
(※出場選手が多い場合は、男女を午前と午後に分けて競技する場合あり。)
2. 会 場 (1) 総合開会式 沖縄県立武道館アリーナ
(2) 競 技 宜野湾高等学校アーチェリー競技場
3. 競技規定 全日本アーチェリー連盟 2026-2027 競技規則による。
4. 競技方法
(1) 70mラウンド(男女共、70mの36射の2回)と、20mラウンド(20mの72射)の個人戦。
(2) 70mラウンド上位3名か、20mラウンドの前後半36射のどちらか高い得点上位の合計をもって団体戦の得点とする。
5. 参加資格
(1) 学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒を除く。
(2) 沖縄県高等学校体育連盟に加盟している高等学校生徒であること。
(3) 令和8年度沖縄県アーチェリー協会又は身障者アーチェリー協会に登録済みの者であること。
(4) 平成19年(2007年)4月2日以降に生まれた者とする。但し、同一学年での出場は1回限りとする。
(「出場」とは登録やエントリーではなく、試合への出場回数をさす)
(5) チームの編成においては、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
(6) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。
(7) 転校・転籍後6ヶ月未満の者の参加は認めない。但し、一家転住等やむを得ない事情の場合は、所属高等学校長の申請により、県高体連会長の認可があればその限りではない。
(8) 同一選手が2競技にまたがって出場することは原則として認めない。
(9) 他の事項については、全国高校総体実施要項及び全九州高校体育大会実施要項に準ずる。
(10) 参加資格の特例
上記(1)に定める生徒以外で、(2)～(7)の大会参加資格を満たし、かつ大会参加資格の別途に定める規程に該当する生徒の大会参加を認める。
6. 引率・監督について
(1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、沖縄県高等学校体育連盟会長に事前に届け出る。
(2) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は高体連に登録するとともに、傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。
7. 参加制限
(1) 団体戦は、1校男女各1チームとする。
(2) 個人戦は制限なし。
8. 大会参加申し込み(申込手順:締め切り日までに手続きを完了すること。)
(1) 参加校は、選手団を編成し、沖縄県高体連ホームページより所定の参加申し込み用紙をダウンロードする。
(2) 必要事項を記入し、各学校参加申込一覧表(PDFとExcelデータの両方)と競技参加申込書(PDF)をまとめて、高体連事務局へメールで申し込むこと。(学校単位)電話やFAXでの申込や締切以後は受け付けない。
(3) 競技申込書のエクセルデータについては、下記宛メールで提出すること。
専門委員長(向陽高校:平良六二)「tairamt@open.ed.jp」
(4) 申し込み締切 令和8年5月7日(木)12:00必着(締切り時間後は受け付けない)

9. 大会参加費

参加申込生徒一人当たり300円とし、参加申込書に記載された選手数（マネージャー、補助員等は除く）を乗じた額とする。

10. 抽選会 令和8年5月12日（火）15：00本部抽選とする。（向陽高等学校）

11. 表彰 団体優勝チームには賞状・優勝旗を、2～3位チームには賞状を授与する。
個人優勝者と2～3位には賞状を授与する。

12. 連絡事項

- (1) 個人情報保護については「沖縄県高体連個人情報保護方針」に従って取り扱います。
- (2) 競技中の疾病傷害などの応急処置は主催者側で行うがそれ以上の責任は負わない。
- (3) 着衣は、原則(公財)全国高体連アーチェリー専門部の服装規定に従う。
- (4) 雨天時はレインコート着用を認める。
- (5) 弓具検査は競技開始30分前から行う。
- (6) 採点は選手相互の看的で、得点の読み上げは同一立順の相手が行い、記録補助員が記入し、選手本人がこれを確認する。得点に異議があるときは審判を呼んで判定させる。
- (7) 20mラウンドについては、上位大会への派遣はありません。